

U22・女子審判員を対象とした合同研修会を開催

10月14日に松島フットボールセンターを会場に「U22・女子審判員合同研修会」を開催しました。

今回の研修会はU22以下の審判員(ユースを含む)と女子の審判員を対象として審判スキルの向上を目的として研修会を開催しました。

主な内容は①座学形式でのレクチャー(アイスブレイク、資質向上、第12条ファールと不正行為の見極め)、②みちのくリーグの試合を利用した実技研修、③実技研修の試合の映像分析を実施しました。

参加審判員はボリュームのある研修内容でしたが、新たな気づきや発見もあり充実した研修会を実施できました。



大平 俊明 副委員長 コメント

今回研修会は初めての試みとして、U-22審判員と女子審判員の合同研修会として開催をしたところ、級を問わず上級審判員を目指すU-22審判員、女子審判員の参加を得て、午前の座学研修と午後からU-15みちのくトップリーグを利用した実技(ビデオ)研修と内容の濃い研修会となりました。また、今回の研修会は同じ目標を持った同年代の審判員によるものであったことから当初から積極的に姿勢を感じ取る事ができるものでした。今回の研修で学んだことをこれからのレフリングに取り入れることにより審判員として更なるレベルアップをしてもらえるよう期待します。そして、その成果により各自が目標とする上級審判員となり、飛躍・活躍されることを改めて期待します。これからも、審判委員会としてサポートしていきますので、頑張ってください。

佐久間 遼 3級審判員コメント

今回、座学では今後、上級を目指していくうえで必要な「準備」「意識」ということの重要性、ファウルと不正行為を学び、明日の審判から生かすことができると感じました。また、初めて、映像研修をしていただき、大変貴重な体験となりました。自分の動きや事象の観察等を客観的に振り替えることができ、今まで気づかなかった点に気づくことができました。また課題を皆と共有することで、他の人がどのように工夫しているかなどがわかり、役に立てると思います。同世代の審判員の方と一日研修をし、他の方々の審判活動に対する姿勢なども感じることができました。今後の上級へのステップアップの糧としていきます。

伊勢 和 3級審判員コメント

今回の研修会は、新しい学びの場でありました。外科医の手術の話からは準備の大切さ、潜在・顕在意識の持ち方からは審判員としての心構え、夢の持ち方、そして競技規則の理解を深めることができました。今回の研修会やその中の高円宮杯観戦を通して、審判活動を通してサッカーに関わることのできる楽しさを再確認できた1日でした。楽しいことばかりではないのもわかっていますが、私は、同世代や女子審判員と活動し、意見を交換し合うことで、よりその気持ちを感じました。

3級審判員として積極的に活動し、成長していきたいと考えていますので、今後ともご指導よろしくお願い致します。